胆振・日高地方

農 業 気 象 情 報

令和２年７月前半

室 蘭 地 方 気 象 台
令 和 ２ 年 ７ 月 １ ７ 日

【７月１日から 15 日までの天気概況】

この期間は、低気圧を含む気圧の谷や高気圧が交互に通過して、短い周期で天気は変わった。

１日：気圧の谷の影響で曇りで明け方と昼過ぎに雨が降ったが、昼前は晴れた所があった。
２日：気圧の谷の影響で雨が降った。日降水量は洞爺湖温泉 34.5㎜、大滝 32.5㎜ 等であった。
３日：はじめ気圧の谷の影響で日高東部で雨が降った。しだいに高気圧の張り出しの中となって胆振地方で晴れたが、日高地方は湿った空気が流入した影響で時々曇った。
４日：気圧の谷の影響で概ね曇ったが、胆振中部と日高東部で雨が降った。
５日：湿った気流の影響で曇り、日高地方で雨の降った所があった。
６日：気圧の尾根の中で晴れたが、朝晩は湿った空気が流入して曇った。
７日：気圧の谷の影響で雨が降った。日降水量は大岸 64.5㎜、登別 53.0㎜ 等であった。
８日：気圧の谷の影響で雨が降った。日降水量は洞爺湖温泉 41.5㎜、伊達 32.5㎜ 等であった。
９日～10 日：気圧の尾根の中で晴れた。
11 日：気圧の谷の影響で曇り、雨の降った所があった。
12 日：気圧の谷の影響で曇り、午後雨が降った。日降水量は仁世宇 17.5 ㎜等であった。
13 日：気圧の谷の影響で午前中雨が降ったが、午後から曇った。
14 日：気圧の谷の影響で概ね曇ったが、日高地方で雨の降った所があった。
15 日：気圧の谷の影響で朝晩曇ったが、日中は晴れた。日高地方で雨の降った所があった。

【旬の要素別概況】

・７月上旬
気　　温：平年より高い又は平年よりかなり高かった。
降 水 量：概ね平年並だったが、胆振西部では平年よりかなり多かった。
日照時間：概ね平年より多かったが、沿岸部では平年並の所があった。

【旬の気象官署・特別地域気象観測所・地域気象観測所の統計値】

・７月上旬

	気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（時間）		
	旬平均	平年差	階級	旬合計	平年比	階級	旬合計	平年比	階級
室蘭	18.1	+1.7	高い	48.0	79%	平年並	48.2	112%	平年並
苫小牧	18.1	+1.9	かなり高い	53.0	91%	平年並	46.4	139%	多い
厚真	19.0	+2.0	高い	37.5	91%	平年並	48.1	121%	多い
伊達	18.9	－	－	90.0	－	－	53.2	－	－
浦河	17.8	+2.2	かなり高い	61.0	118%	平年並	38.0	98%	平年並
日高	19.6	+1.9	高い	40.5	104%	平年並	62.6	133%	多い
静内	18.5	+1.8	かなり高い	48.0	103%	平年並	47.9	112%	平年並
三石	18.4	+2.2	かなり高い	61.5	102%	平年並	40.5	100%	平年並

（注１）　観測値は後日一部訂正することがあります。

（注２）　統計値の階級は「高い（多い)」、「平年並」、「低い(少ない)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間（1981年～2010年の30年間）における各階級の出現率が1：1：1となるように決めています。
　なお、高い(多い)方から上位10%に該当する場合は「かなり高い(多い)」、低い(少ない)方から下位10%に該当する場合は「かなり低い(少ない)」で表しています。

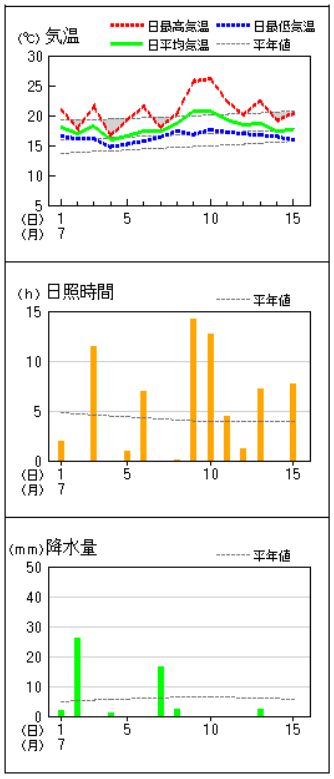
（注３）　「)」付きの数値は欠測を含むことを表します。

（注４）　「]」付きの数値は欠測の割合が一定以上あるため、平年比および階級を求めていません。

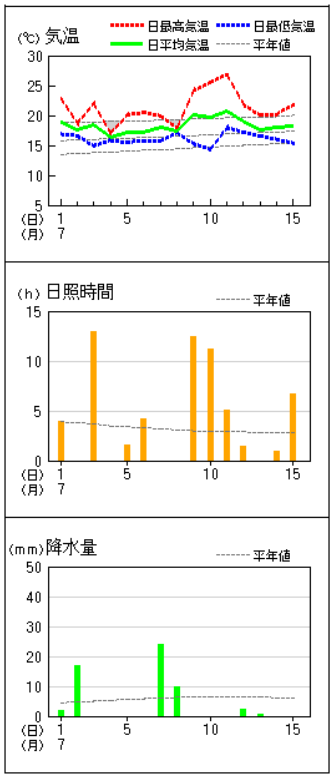
（注５）　伊達は平年値を算出するために必要な観測年数を満たしていないことから平年値がなく、平年比（差）および階級を求めていません。

2020 年７月１日～15 日　気象経過図　胆振地方（気象官署・特別地域気象観測所・アメダス）

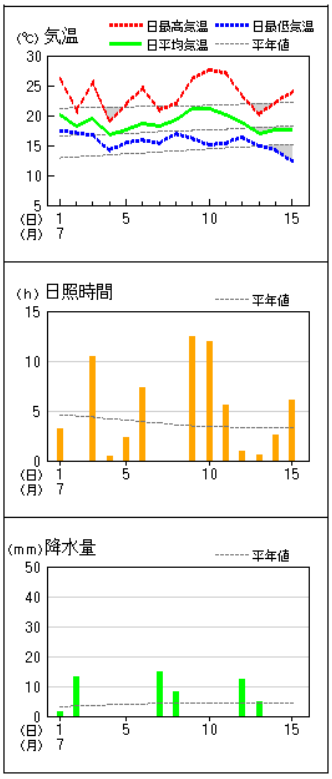
室蘭



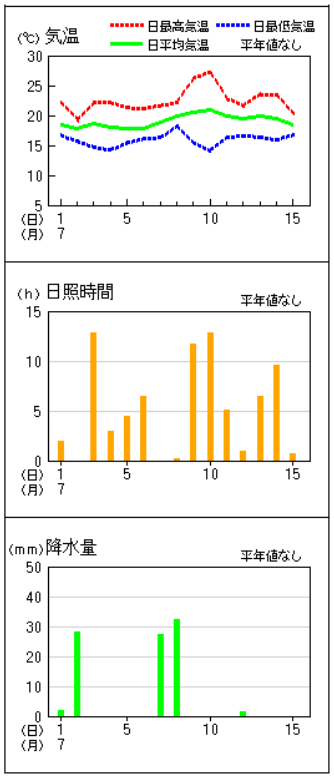
苫小牧



厚真

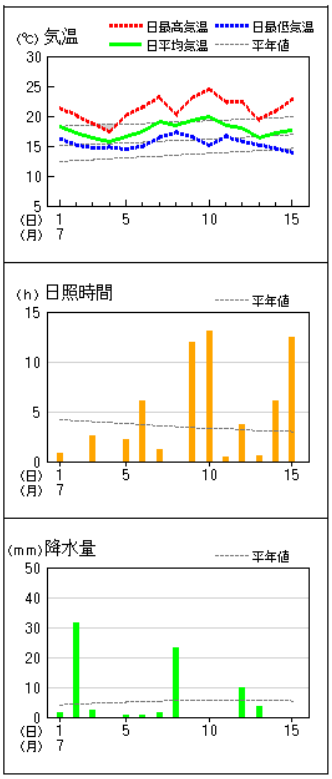


伊達

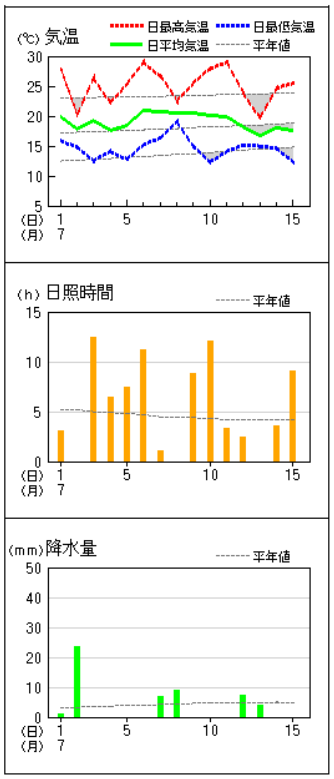


2020 年７月１日～15 日　気象経過図　日高地方（特別地域気象観測所・アメダス）

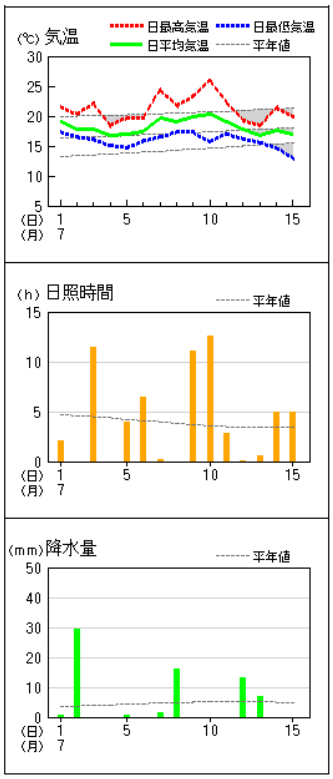
浦河



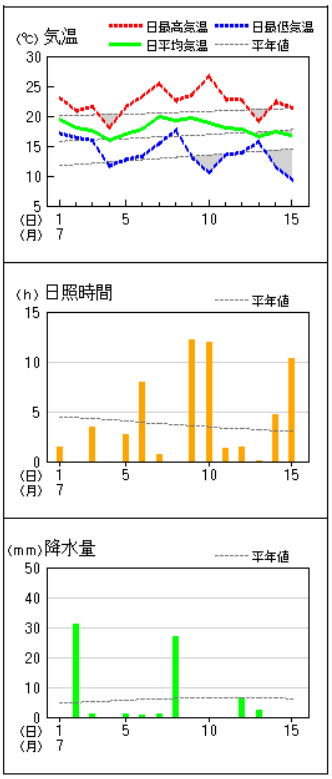
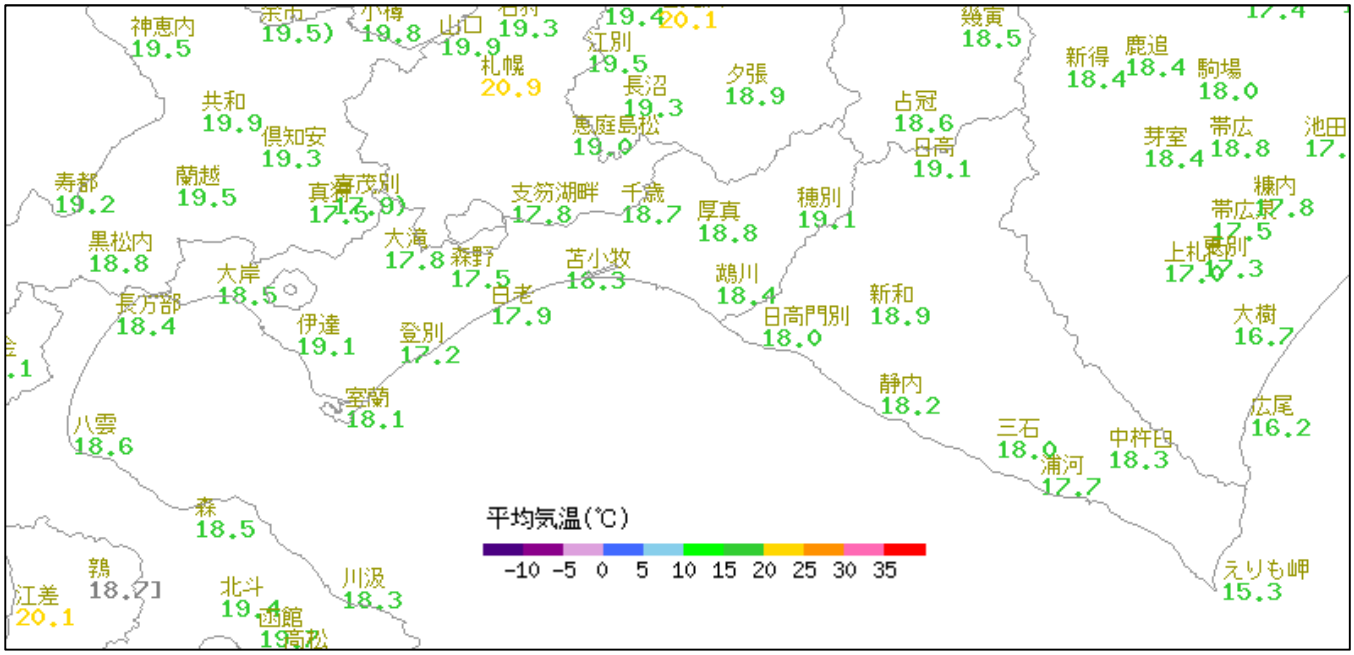
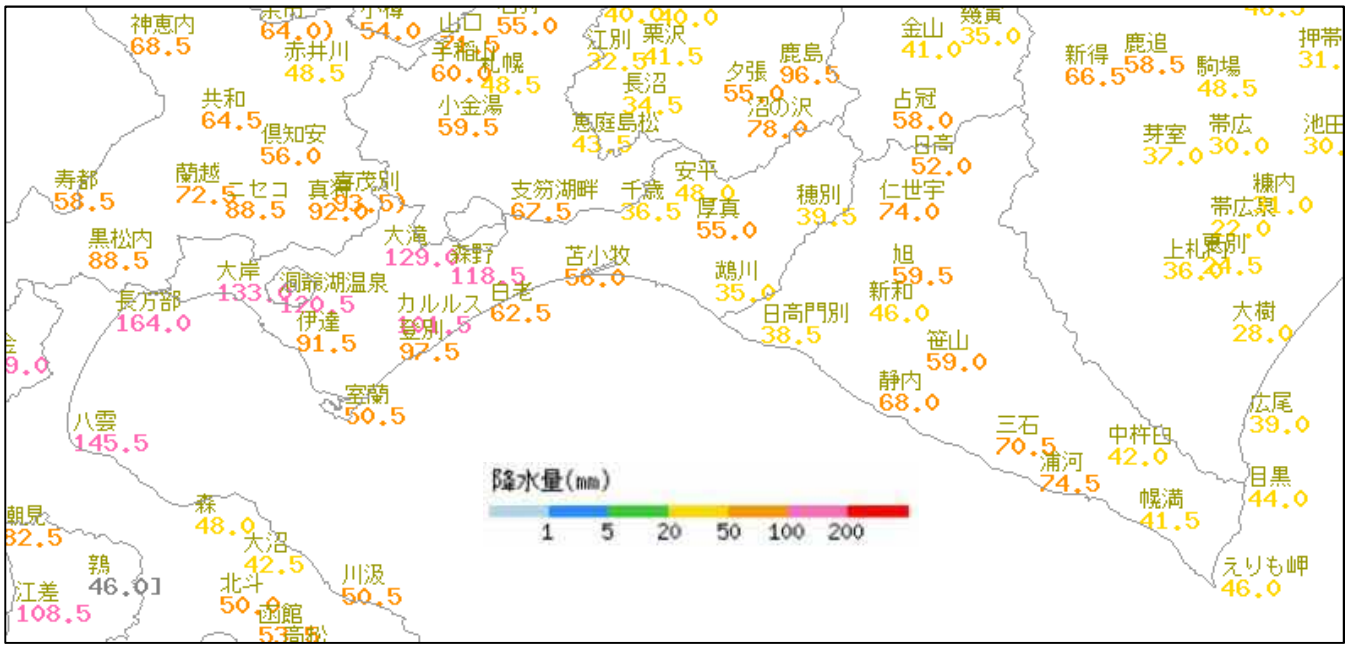
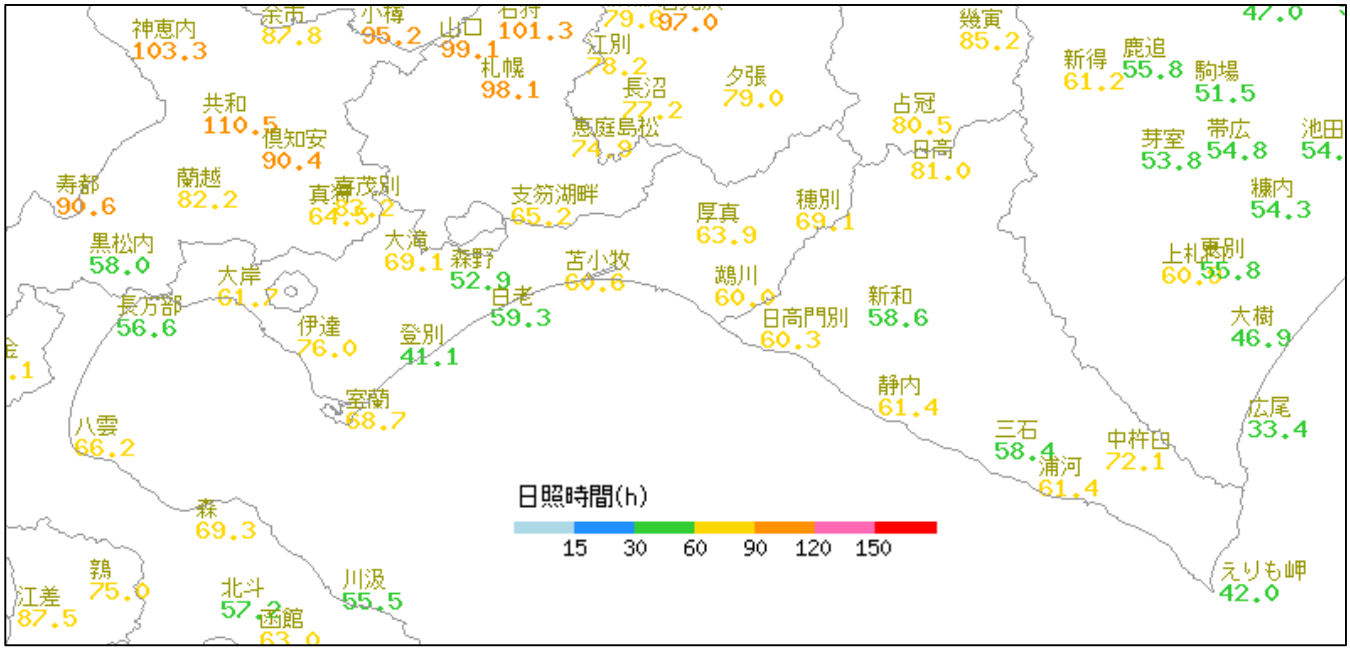
日高



静内



三石



2020 年 7 月 1 日～15 日の気象分布図